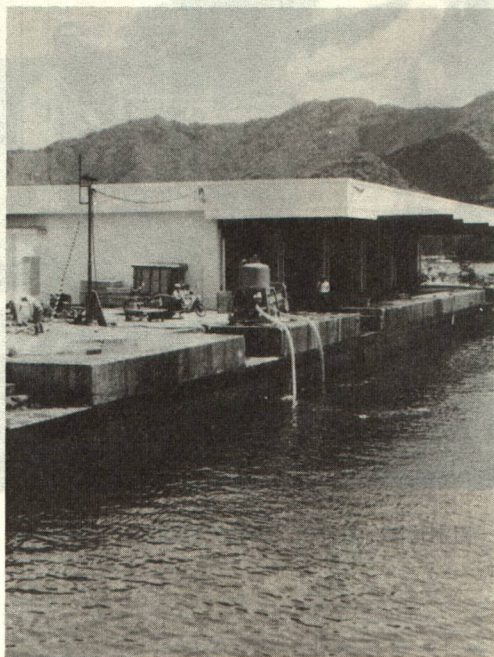


待望の

魚市場が落成

—— 駐車場や設備もとのえて

四月二十二日、浜町にある魚市場の落成式が行なわれました。これは昭和五十二年十月に着工され約五ヶ月間の工期で完成をみた訳です。建物は、鉄筋コンクリート造平屋建、約一二二〇平方メートル。付属する設備として、ホイスト三基



(新しい市場、手前にみえるのはフィッシュポンプ)

フィッシュポンプなどが備えられています。ホイストというのは、大量にとれた魚を市場へ荷上げるクレーンです。フィッシュポンプというのは、魚を吸い上げるポンプのことです。古い市場の建物は、同じ位置にありましたが、昭和初期に建築されたもので、木造のため老朽化もひどく、面積も七五〇平方メートルとせまかったので不便を感じていたようです。又、建築中は、すぐ西側に仮設の

市場をこしらえて急場をしのいでいました。この総事業費は、八五三〇万八千円で、国がその $\frac{2}{3}$ を負担し、残りを地元で負担しています。この事業は、リマ対策事業と呼ばれていますが、リマ対策というのは、足摺岬沖南方の、リマ水域の漁場を、アメリカ合衆国が軍事演習場に使っていることから、日米安全保障条約にもとずき、国が、漁業補償の意味で行なう事業のことです。

落成当日の式典のあとのモチ投げには、道路にすきまのないほど人が集まった。



こんなところが

良くなる

新しい市場の建物は、多くの点で、関係者に喜ばれそうです。ホイストの設置や、フィッシュポンプの設備はもちろんのことですが、広さが六〇割もふえ、せまいところに魚を積み重ねる必要もなくなりました。船のつく岸壁まで屋根が延び魚の鮮度の低下が少なくなりました。建物を道路から五メートルほど引いたので、駐車場ができたこと。老朽

化の危険性が解除されたこと。衛生的に改善されたことなどが、その主な理由です。又、仮設市場の取こわした跡地は、駐車場として利用される予定で、市場前の交通渋滞は大巾に改善されそうです。新しい市場に揚ってくる魚は、市内の各家庭へ、あるいは、各地へ出荷されるものもありますが、それだけに、より新鮮な味わいを深めてくれるものと期待されます。